

完成した山腹工事

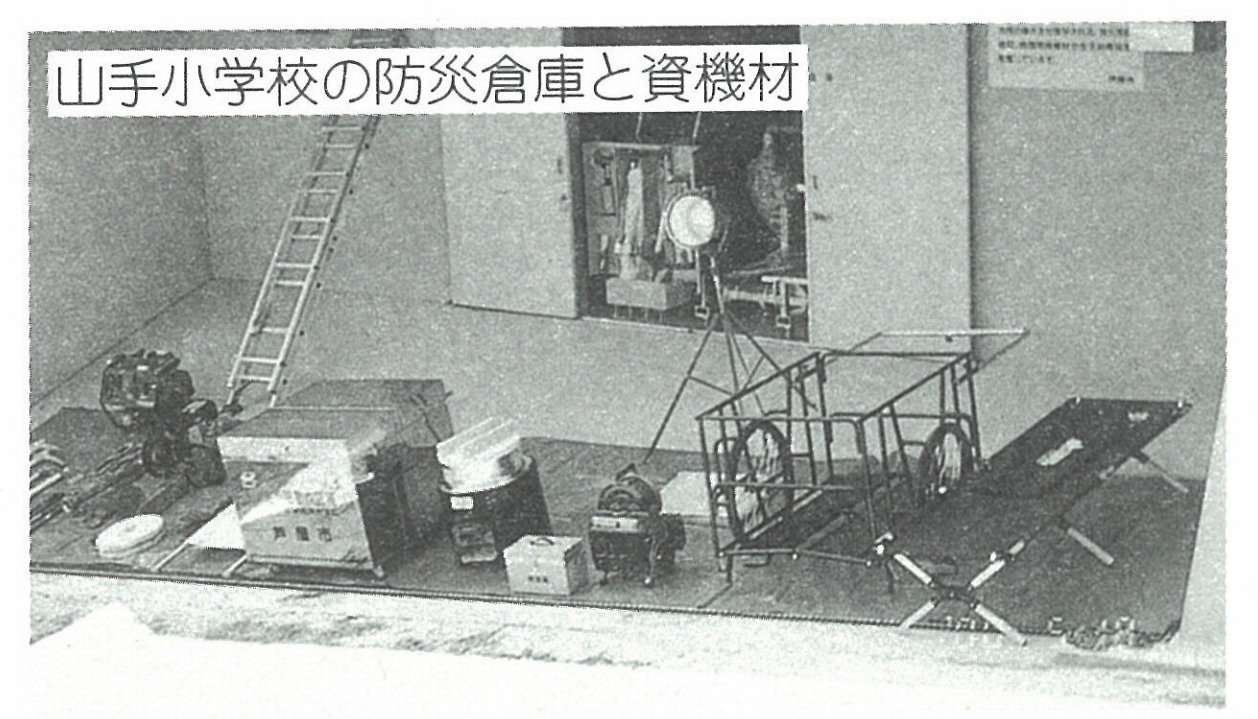
阪神・淡路大震災から5年が経過し、「防災」という言葉が縁遠くなっているませんか。いざというときに身を守る最大のポイントは「日頃の備え」。  
ふだんからの心得と、いざというときに役立つあれこれをこの臨時号で特集してみましたのでご覧ください。  
「災害は、忘れたところに…」が心配です。

## 知っていますか。防災倉庫 !!

災害時に地域住民に必要な飲料水及び消火用水の確保を目的とした耐震性飲料・消火兼用貯水槽と、資機材を備蓄した防災倉庫が山手小学校に完成しました。  
現在までに、宮川小学校、朝日ヶ丘小学校、浜風小学校に設置済みです。今後も、各小学校に設置予定です。ぜひ、防災倉庫の資機材を使用した訓練を実施してください。

- ◆耐震性飲料・消火兼用貯水槽(100m<sup>3</sup>) 1基
- ◆資機材備蓄防災倉庫(50m<sup>3</sup>) 1カ所

約40種類の資機材を備えています。消防本部がいつでも使えるよう点検・整備を行っています。



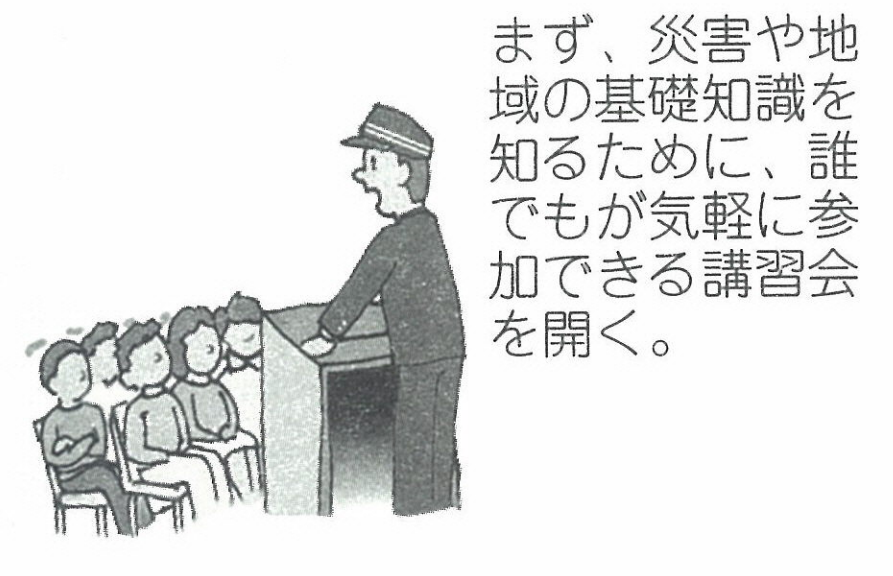
山手小学校の防災倉庫と資機材

## 自主防災組織をつくりましょう

地域の防災はみなさんが主役です。

地域に住むみなさんが協力してこそ、本当に災害に強いまちができていきます。個人個人で防災活動しても、いざというとき十分な効果が期待できません。自主防災活動をより身近なコミュニティ活動の一環として位置づけ、そこで暮らしているみなさんが協力し合って活動していくことが大切です。

### 防災知識の普及



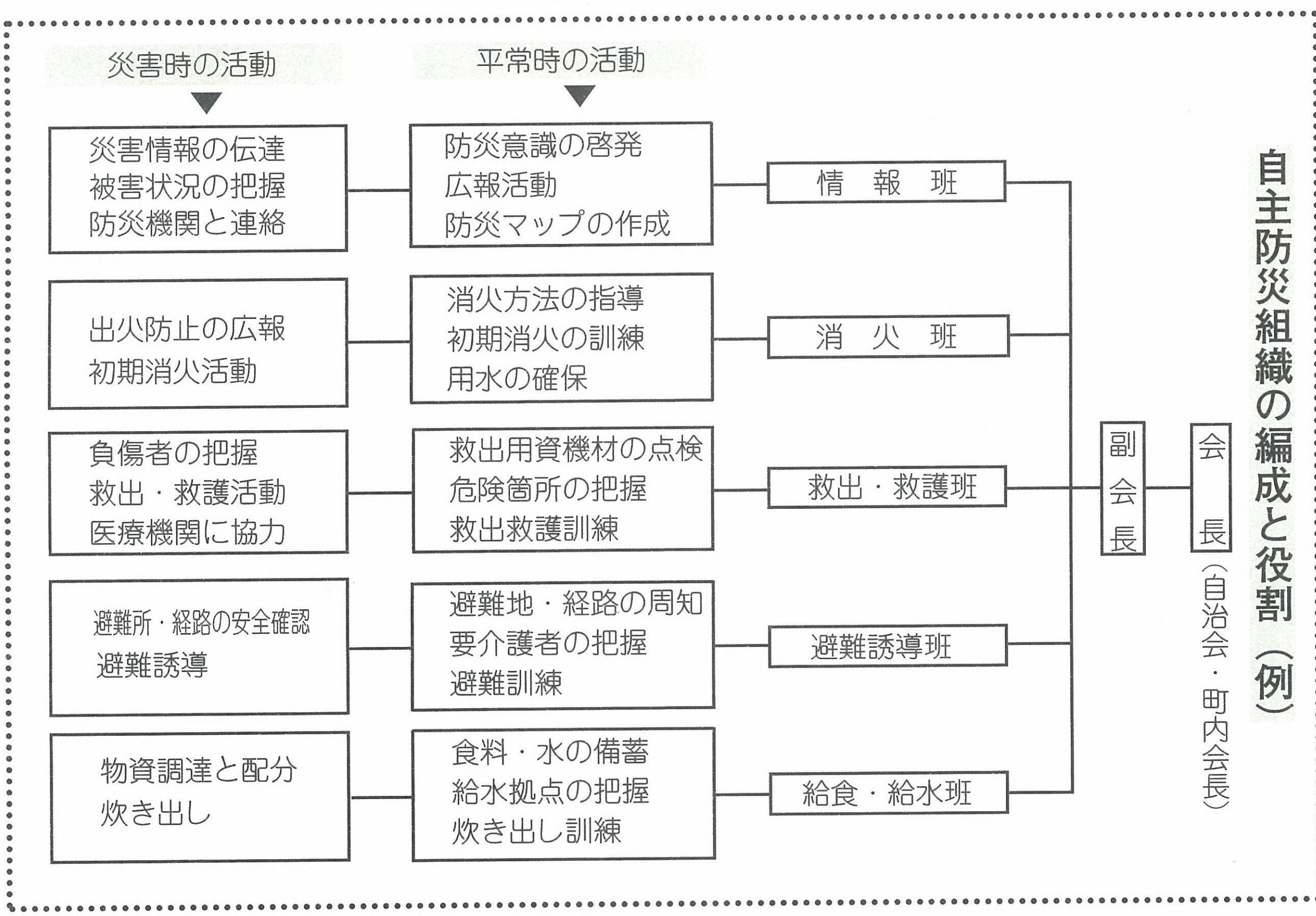
### 防災巡視・点検



### 防災訓練



人命救助訓練



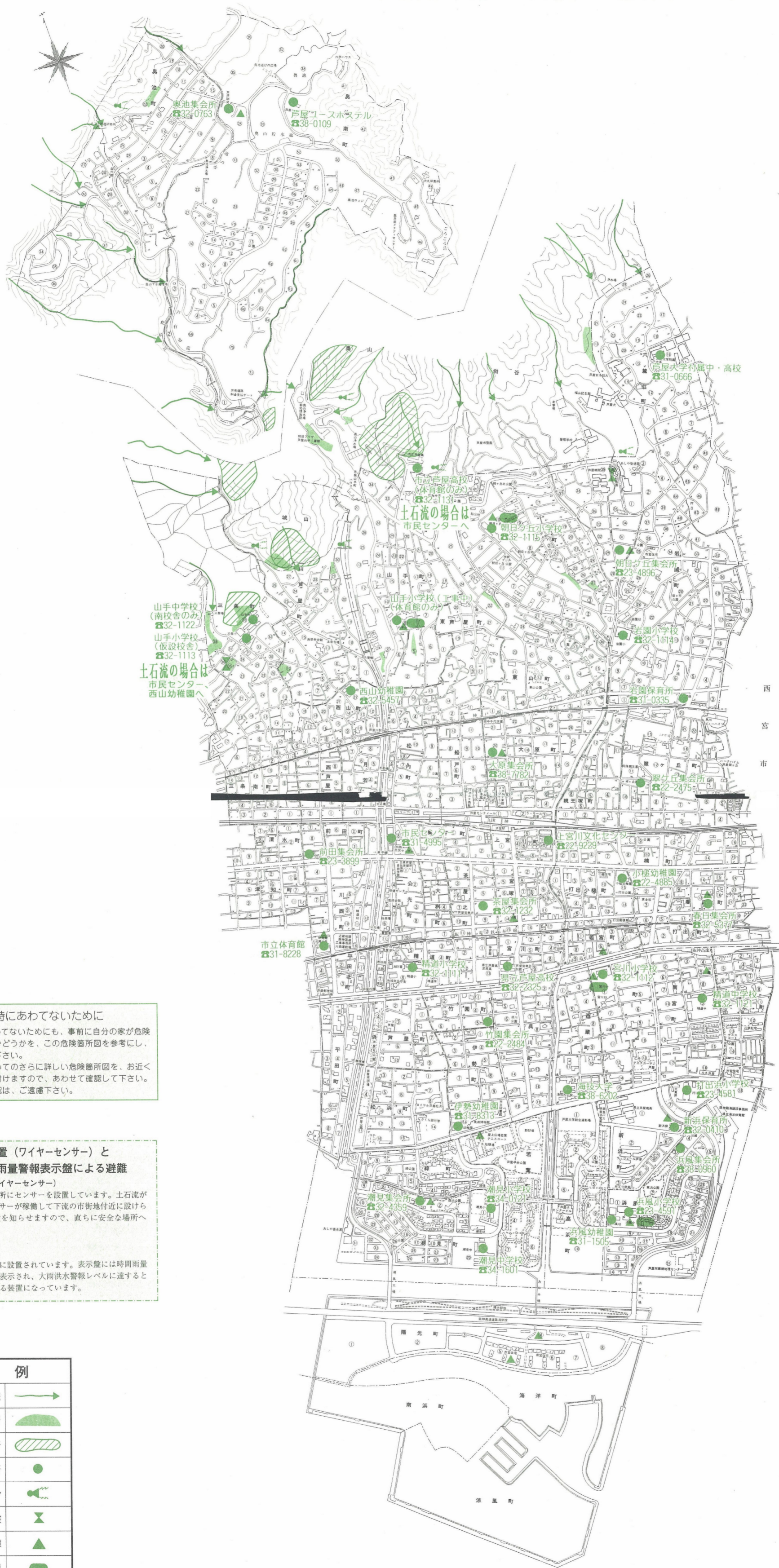
## 自らの安全は自ら守ろう!

災害による被害を最小限にするために、防災関係機関による活動はいうまでもありませんが、地域の住民の連帯により「自分たちのまちは、自分たちで守る」という姿勢で地域ぐるみの防災体制を形成していくことが重要です。  
いざ災害が起こると、いち早く駆けつけてくれるのは、やはり近所の人達です。  
防災は、自分の家族の生命、財産にかかる問題です。しかし、家族だけでは対応できない場合もあります。  
日頃から近隣の人々との交流を通じて、地域の防災に関することを考え、自主防災活動を活発にしておくことが大切です。  
自治会、町内会等地域単位で防災活動をしましょう。左表の例にありますような、消火活動、救出救護活動、避難活動などの訓練からまずはじめましょう。

問い合わせ相談は防災対策課 ☎38-2093



# 避難所の所在地及び土石災害の危険箇所図



西  
宮  
市

**いざという時にあわてないために**  
 災害が発生した時あわてないためにも、事前に自分の家が危険地域に該当しているかどうかを、この危険箇所図を参考にし、よく確認しておいて下さい。  
 また、山沿いについてのさらに詳しい危険箇所図を、お近くの市公共施設に備え付けますので、あわせて確認して下さい。  
 なお、電話での確認は、ご遠慮下さい。

**※土石流感知装置（ワイヤーセンサー）と雨量警報表示盤による避難**  
**○土石流感知装置（ワイヤーセンサー）**  
 特に危険な渓流7か所にセンサーを設置しています。土石流が発生すると、センサーが稼働して下流の市街地付近に設けられたサイレンで危険を知らせますので、直ちに安全な場所へ避難してください。  
**○雨量警報表示盤**  
 三条北公園、和風園に設置されています。表示盤には時間雨量と総雨量がデジタル表示され、大雨洪水警報レベルに達すると赤色回転灯が点灯する装置になっています。

凡 例	
土石流危険渓流	→
がけ崩れ危険箇所	■
山地災害危険箇所	▨
避難所	●
土石流サイレン	⦿
雨量警報表示盤	⊗
防災倉庫	▲
飲料・消火兼用貯水櫃	●

本図は昭和63年4月製図、平成10年3月一部修正したものである。



# 土砂災害に 注意しましょう

こんな「がけ」は危ない！

- はり出している。
- 勾配が30度以上、高さが五メートル以上のがけ。
- 雨が集中して流れるところがある。
- 斜面に亀裂がある。
- 不安定な岩や土のかたまりがある。
- わき水が出ている。

## 土砂災害の 種類と前兆

長雨や大雨、地震が発生したとき、次のような土砂災害の前兆が考えられますので、十分に注意して早めに避難しましょう。

- 「がけ崩れ」
- 「山崩れ」
- 「地すべり」

### こんな前兆に注意！

- がけからの水が濁る。
- 地下水やわき水がとまる。
- 斜面にひび割れ、変形がある。
- 小石が落ちてくる。

### 「土石流」

- 山鳴りがする。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 川が濁ったり流木が流れる。



## 家庭で取り組む 防災対策

### 地震(家の中の安全対策)

- 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる。
- 寝室、子供や高齢者のいる部屋には家具を置かない。
- 家具は倒れにくいように置く(ガラスの飛散防止も考えておく)。
- 安全に避難できるように、出入り口や通路に物を置かない。

### (家の周囲の安全対策)

- 不安定になった屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。
- ベランダ等の植木鉢の整理整頓をする。落ちる危険があるところには何も置かない。
- ブロック塀、門柱の基礎はしっかりしているか、ひび割れはないかの点検と補強や修理。

### 風水害(家の中の安全対策)

- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオの準備。
- 避難に備えて貴重品などの非常持ち出し品の準備。
- 気象情報を注意深く聞く。
- 浸水などの恐れがあるところは、家財道具や食料品、衣料品などの生活用品を高いところへ移動。
- 高齢者や乳幼児、病人を安全な場所へ。

### (家の周囲の安全対策)

- 雨どいに落ち葉や土砂がたまっていないか。継ぎ目はずれや腐りはないか。雨戸にがたつきやゆるみはないか。
- 側溝のゴミや土砂を取り除き、雨水の排水を良くしておく。
- モルタルの壁に亀裂はないか。板壁に腐りや浮きはないか。
- 屋根やベランダは地震に同じように気を配る。

### 非常食の備え

大きな災害が発生した場合、一時的ですが水、食糧、電気、ガスなどの供給が断たれます。三日間程度の乾パン、缶詰など、火を通さずに食べられる物や、飲料水を確保しておきましょう。

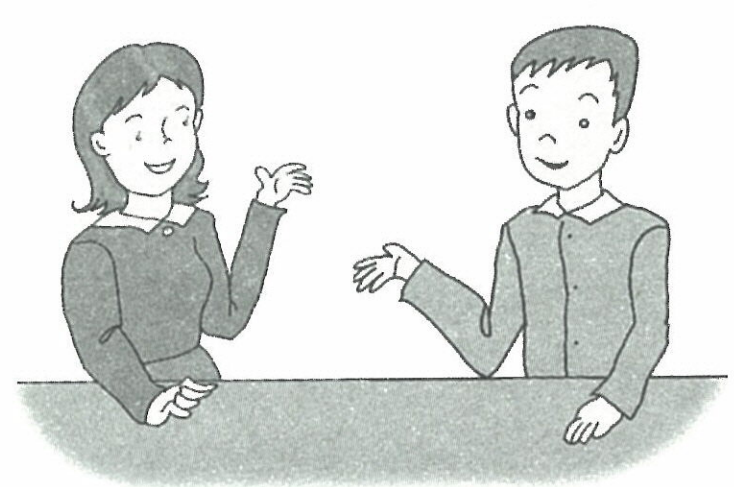
## 正確な情報に従い行動する

とかく緊急時には、不正確な情報が飛び交うことがあります。テレビやラジオのニュースなど正確な情報に従って行動するようにしましょう。特に、緊急時をねらった悪質な商法には注意をしましょう。



## あなたの地域の避難所の確認を

いざという時に、自分や家族が避難する場所や経路を、日頃から家庭で話し合っておきましょう。また、外出時などで、家族がばらばらになったときも、家のドアに連絡事項を書いた貼り紙をするなどして、安否を確認し合うことも大切です。

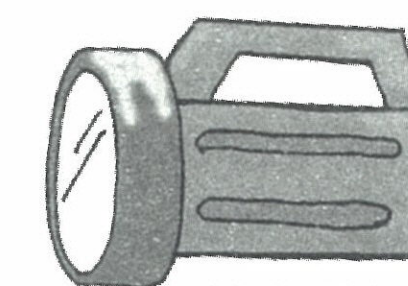


## 避難所一覧表


名称	所在地	電話番号
奥池集会所	奥池南町34-4	32-0763
県立芦屋ユースホステル	奥池南町40-30	38-0109
山手小学校(仮設校舎)	三条町39-20	32-1113
山手中学校(南校舎のみ)	三条町39-10	32-1122
西山幼稚園	西山町22-15	32-5457
前田集会所	前田町9-11	23-3899
山手小学校(工事中・体育館のみ)	山手町8-3	—
市立芦屋高等学校(体育館のみ)	剣谷9	32-1131
大原集会所	大原町20-2	38-7782
市民センター	業平町8-24	31-4995
上宮川文化センター	上宮川町10-5	22-9229
朝日ヶ丘小学校	朝日ヶ丘町10-10	32-1115
朝日ヶ丘集会所	朝日ヶ丘町30-9	23-4896
岩園小学校	岩園町23-41	32-1114
岩園保育所	岩園町2-18	31-0335
芦屋大学附属中・高等学校	六麓荘町16-18	31-0666
翠ヶ丘集会所	翠ヶ丘町9-15	22-2475
精道小学校	精道町8-25	32-1111
市立体育館	川西町15-3	31-8228
茶屋集会所	茶屋之町8-20	32-1232
竹園集会所	竹園町5-6	22-2484
伊勢幼稚園	伊勢町13-14	31-8313
宮川小学校	浜町1-9	32-1112
県立芦屋高等学校	浜宮川町6-3	32-2325
小槌幼稚園	打出小槌町15-7	22-4885
国立海技大学校	西蔵町12-24	38-6202
打出浜小学校	新浜町8-2	23-4581
精道中学校	新南宮町9-7	32-1121
春日集会所	春日町13-17	32-5377
浜風小学校	浜風町1-1	23-4591
浜風幼稚園	浜風町1-2	31-1505
浜風集会所	浜風町3-2	38-0960
新浜保育所	浜新町1-1	32-0410
潮見小学校	潮見町1-2	34-0721
潮見中学校	潮見町20-1	34-1601
潮見集会所	潮見町7-1	32-4359
合計	36か所	

## 非常持ち出し品の準備

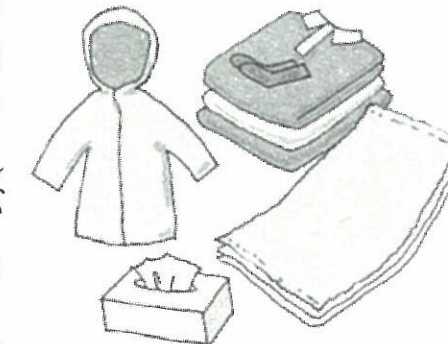
まさかの時は、準備の時間がありません。日頃の習慣として、持ち出し品を準備しておくとともに、期限付きの医薬品や、賞味期限付きの保存食品などは、点検を心がけましょう。また、「住所録」など親戚や知人の連絡先を控えたものも、用意しておく便利です。



懐中電灯




現金・貴重品



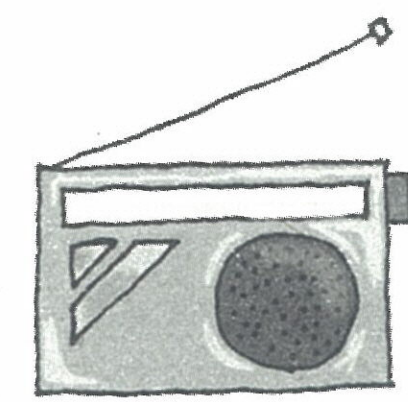
衣類・タオル



救急医薬品



食料・飲料水



携帯ラジオ

※土石流発生のおそれがある時は

● 三条地区は市民センター、西山幼稚園へ避難  
● 山手地区は市民センターへ避難

救急医薬品として、

- ▼ 包帯、ばんそうこう、滅菌ガーゼ、三角巾、体温計、はさみ、ピンセット、傷薬、目薬、解熱剤、風邪薬、常備薬

食料・飲料水として

- ▼ 米、乾パン、インスタント食品など
- ▼ 漬け物、梅干し、佃煮、缶詰など
- ▼ みそ、醤油、塩など

飲料水一人につき一日三リットルなど